平成３１年３月

平成３０年度　行政評価の結果

平成２９年度に実施した全ての事務事業と施策について内部評価を行いました。

１．行政評価システムの目的

（１）職員の意識改革、政策形成能力の向上

行政評価システムの導入により、成果志向※１、目的意識※２、コスト意識※３の向上といった職員の顧客志向※４による意識改革を図ります。また、このシステムを継続的に運用することにより、職員の政策形成能力の向上を図ります。

※１　成果志向：行政活動が本当の顧客サービスにつながっているか、に意識を向けること。
※２　目的意識：誰のためにどのような意図で行政活動を行っているか、という意識。
※３　コスト意識：コストに見合った顧客サービスが提供されているか、という意識。
※４　顧客志向：行政サービスを受ける市民を顧客として捉え、顧客（市民）の立場に立った効果的・効率的な行政経営を行うことで、市民満足度の向上を目指す考え方。

（２）事務事業執行の改革改善

事務事業評価を基に課題を認識し、次の改革や改善につなげていくことで、効果的・効率的な事業展開を図ります。

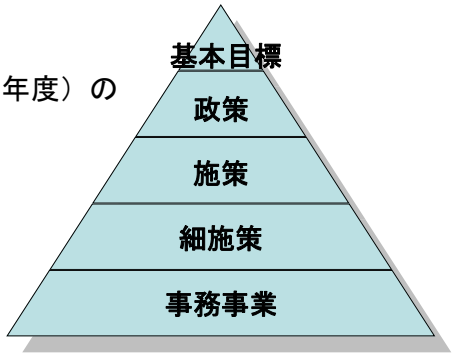
（３）重要性の低い事業の休廃止・事業の優先順位付け

施策※5の評価を実施して、施策の位置から個々の事務事業を展望し、施策目的に対する各事業の貢献度・重要性に関する相対評価を行うことによって、事業の休廃止の検討や各事業の優先順位付けを行います。

※５　施策：事務事業をいくつかまとめた単位

２．第４次岡谷市総合計画の目的体系

「第４次岡谷市総合計画」（計画期間：H21～30 年度）の目的体系表に基づいて行政評価を実施しました。



３．事務事業評価

「事務事業執行の改革改善」を主な目的として、平成２９年度に市が実施した全ての事務事業を評価しました。

評価主体

各部署の担当者（事務事業実施後に自己評価）［内部評価、事後評価］

・１次評価＝担当者（主幹等）　　・２次評価＝所属長（課長等）

評価件数

種　別	評価総数	左記内訳：第４次岡谷市総合計画での位置づけ	
		基本目標 1-5 の 41 施策を構成する事務事業	総合計画の推進に向けた行政運営事務
一般事業 (様式 1)	139 件	122	17
建設事業等 (様式 2)	18 件	17	1
内部管理事務等 (様式 3)	104 件	62	42
公共施設の管理運営事業 (様式 4)	32 件	28	4
補助金等 (様式 5)	191 件	161	30
合　計	484 件	390	94

＊　新規評価：3 件

評価の視点

項目	評価の視点
妥当性	市が事務事業を行う必要性はあるか。
有効性	市が行ったサービスが成果（市民満足度）につながったか。［成果指標］
効率性	少ない費用で効果的にサービスを提供できたか。［コストの推移］

様　式

各事業の性質に応じて、専用の評価表を用いて評価しました。

様式１	建設事業・内部管理事務以外の全ての事業について、妥当性・有効性・効率性の視点から評価する。
様式２	複数年度にわたる事業（施設の建設、行政計画の策定等）について、事業の進捗率を中心に進行管理を行う。
様式３	市の内部的な事務について、効率性を中心に評価する。
様式４	公共施設の管理運営事業について、妥当性・有効性・効率性の視点から評価する。
様式５	補助金、負担金、交付金を交付する形態の事業について、妥当性１次・２次判定、有効性の視点から評価する。

評価結果の活用等

・事務事業の改革・改善案は、平成３１年度予算編成や事務事業を行う際に、担当者レベルで活用しました。

・組織改正、定員管理の適正化を検討する際に、判断材料の一つとして活用しました。

４．施策評価

「職員の意識改革、政策形成能力の向上」、「重要性の低い事業の休廃止、事業の優先順位付け」を主な目的とし、平成２９年度に市が実施した全ての施策を評価しました。

評価主体

各部署の担当課長等（事務事業実施後に自己評価）　［内部評価、事後評価］

・１次評価＝担当課長等　　・２次評価＝所属長（部長等）

評価件数

４１件（第４次岡谷市総合計画の基本目標を構成する全ての施策）

※総合計画の推進に向けた４施策は進捗管理のみ実施

評価の視点

項目	評価の視点
施策の進捗状況	施策の目的を達成できたか。 少ない費用で効果的に施策を推進できたか。
事務事業の方向性	施策を構成する事務事業について、翌々年度にどのような考え方で実施するか。（事務事業の優先順位付け） Ａ：事業拡大　Ｂ：現状維持　Ｃ：見直し　－：廃止・統合・完了等 （割合は：Ａ１割　Ｂ４割　Ｃ５割　程度を目途に優先順位付け）

様　式

様式６	全施策共通

評価結果の活用等

・事務事業の方向性や優先度の考え方は、平成３１年度予算編成・組織検討の際に参考にしました。

・評価表を用いて、総合計画の進捗管理を行いました。

施策評価による事務事業の方向性

平成２９年度に実施した事務事業は４８４件で、そのうち第４次岡谷市総合計画の基本目標１～５を構成する４１施策に属する３９０件のうち、補助金等１６１事務事業を除く、２２９件の優先順位付け等事業の方向性は下表のとおりです。

なお、総合計画の推進に向けた事務事業６４件については、行政運営事務であることから優先順位付けの対象には含めないものとします。

基本目標を構成する事務事業の優先度一覧

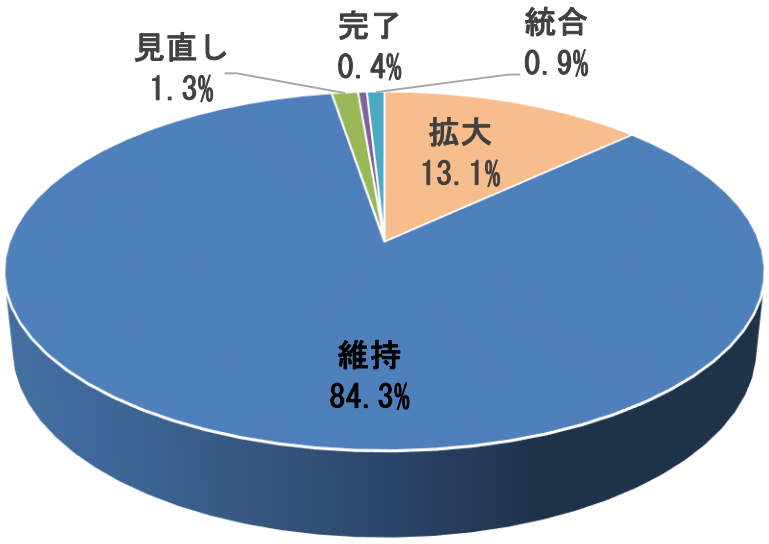
施　策	A（拡大）	B（維持）	C（見直し）	完了	廃止	統合	事務事業数
工業の振興	2	9					11
商業の振興	2	5					7
観光の振興	2	2					4
農林漁業の振興	1	14	1				16
勤労者福祉の充実		1					1
雇用対策の充実		3					3
健康づくりの推進		4					4
予防対策の推進		2					2
母子保健の充実		3					3
医療体制の充実		2					2
子育て支援の充実		7					7
地域福祉の推進	1	6	1				8
障害者(児)福祉の充実		4					4
高齢者福祉の推進	1	13					14
社会保障の円滑な運営	3	20					23
地球環境対策の推進		1					1
自然環境の保全		1					1
生活環境対策の推進		1					1
廃棄物対策の推進	1	5					6
環境衛生対策の推進		5					5
危機・防災・減災対策の推進	2	5		1			8
治山・治水事業の推進	1						1
生活安全対策の推進		5					5
消防・救急体制の充実	2	7					9
上下水道の整備・維持	1	3	1				5
学校教育の充実	2	11					13
青少年の健全育成		5					5
社会教育の充実	1	12					13
文化・芸術の振興		6				2	8

平成３１年３月

施　策	A（拡大）	B（維持）	C（見直し）	完了	廃止	統合	事　務事業数
文化財の保護・活用	1	5					6
スポーツの振興	1	6					7
多文化共生の推進		1					1
計画的土地利用の推進	1	2					3
まちの活力を高める市街地整備		4					4
住宅・宅地の整備	1	2					3
道路の整備	3	4					7
公共交通網の整備	1	1					2
良好な都市景観の保存と創造		2					2
都市緑化の推進		1					1
公園の整備		3					3
合　計	30	193	3	1	0	2	229

*29年度以降に完了、廃止、統合を予定するものを含む

●事務事業の優先順位等の割合



●完了・廃止・統合するまたは予定する事業

分類	該当年度	事務事業名	備　　考
完了	２９	学校施設除却事業	事業完了
統合	２９	調査・活用事業	博物館管理運営事業へ統合
		体験工房管理事業	博物館管理運営事業へ統合

５．外部評価

平成３０年度は新たな行財政改革に関する計画の策定年度であったことから、外部評価は行いませんでした。

６．行政評価の活用

行政評価制度は、導入することが目的ではなく、ＰＤＣＡサイクルのもと実施事業の効果や課題を検証することが必要であり、行政評価本来の機能である「職員の意識改革」「成果意識の醸成」を図ることが重要です。

今年度の行政評価において明らかとなった施策・事務事業が抱えている現状の課題については、確実な改善活動を推進し、平成３１年度を始期とする第５次総合計画の目標に向けて、「事業の目的及び内容、やり方は適切か」、「より効率的又は効果的な手法はないか」などの多角的な視点で事務事業の検証の上、必要に応じた施策の見直しを進めます。

各事務事業の現状・成果を示す資料として評価表は、施策の立案や予算編成過程における施策の優先度を判断する資料などとして幅広く活用してまいります。

７．参考数値

目標指標の達成状況

施策評価では第４次岡谷市総合計画の目的指標を施策指標として、施策の目的の達成状況や成果を示しており、その結果は下表のとおりです。

ただし、第４次岡谷市総合計画の目標指標が施策評価の指標として用いられていないものを含んでいるため（別調査にて把握）、参考数値とします。

・第４次岡谷市総合計画 後期基本計画 に掲げる目標値に対する達成率　：　８２．８９％

※70%以上達成件数／（目標指標合計件数―未実施合計件数）

第４次岡谷市総合計画の位置づけ		目標指標	70%以上達成件数	未公表
基本目標１	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち	9	6	2
基本目標２	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち	14	8	
基本目標３	自然環境と暮らしが調和した、安心安全なまち	18	16	
基本目標４	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち	22	19	
基本目標５	快適に生活できる、都市機能の充実したまち	11	10	
総合計画の推進に向けて		4	4	
合　　計		78	63	2